



いいじま
まもる
飯島 衛 議員

QRコード
録画映像は
こちらをCHECK

電球での安否確認システムを

調査研究してみたい

問 電球で高齢者の安否が確認できる、シンプルで格安な見守りシステムが開発されたが、町でも導入は考えられないか。

答 介護福祉課長 見守り電球を使った見守り防犯デバイスに関して、調査研究していきたい。

問 高齢者世帯と1人暮らし世帯の現状は。

答 介護福祉課長 65歳以上の高齢者のみの世帯数は868世帯、1人暮らしの世帯は799世帯である。

問 日常生活が不自由になったときに、近所や地域にしてほしい



いことは、安否確認や声かけ、災害時の手助けなどである。町には1人暮らし老人緊急通報システムがあるが、設置数が伸びていない。どう取り組むか。

問 案内を行っている。問 1人暮らしの高齢者や障害のある人、災害時に自力で避難することが難しい人

答 間活動の中で申請

答 部署と相談しながら、マップの作成方法を検討していきたい。

いことを地図でその家を塗り、支援できる人の家も別の色で塗るなど、見える化したマップを作成している自治体がある。町でも取り組んではどうか。

問 公会堂などに、フレイルの予防対策

答 災などの関係する

答 ふるさと祭りなどが、台風や新型コロナウィルスの感染拡大などで中止になつて

いる。代替案は考えなかつたのか。また、秋だけではなく夏にも開催したらどうか。

問 町長 来年度は、コロナ感染対策など検討し内容も見直して開催したい。

答 群馬用水の賦課金の納付額が減少してきている。将来、賦課金の増額はあるのか。

として健康遊具の設置をしてはどうか。

てない。

ふるさと祭りなどが、台風や新型コロナウィルスの感染拡大などで中止になつて

いる。代替案は考えなかつたのか。また、秋だけではなく夏にも開催したらどうか。

問 建設課長 賦課金の負担増は慎重に判断すべきと認識している。

答 LINEなどのアプリを使って道路に穴が開いているとか、木が道路に覆いかぶさっている状況などを役場に通報できるシステムの導入はできないか。

問 企画財政課長 一方的で情報収集の機能を持ち合わせたサービスを今後検討したい。

ミニ解説

※フレイル 心と体の働きが弱くなってきた状態。健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味する。

祭りなどが中止になつてているが

現 在のところは考えていません。

答

介護福祉課長 現在のところは考えていません。

いいづか けんじ
飯塚 憲治 議員録画映像は
こちらをCHECK

工事監督員 マニュアルの 作成は

答 町独自での
作成は困難

問 業務一律化とミス
防止のため、監督
員および竣工検査員の
マニュアルを作るべき
では。

答 企画財政課長 技
術的な基準や規
定、また多岐にわたる
詳細なマニュアルを作
ることは困難。

問 施工監督の具体的
実施内容は。
建設課長 施工の
安全管理指導、材
料検査、施工途中の立
ち会い検査など、工程
管理に留意して、現場
代理人との協議・許諾、
指示をしている。

問 地域開発はパワー
不足と専門担当の
不足がある。地域開発
課を新設して取り組む
べきでは。

答 町長 現組織体制、
関係課の考え方や
社会動向などを総合的
に判断し、今後慎重に
検討する。

問 地域開発の現状に
ついて、商工業、
観光と観光農園、一般
農業の3部門では。
産業観光課長 ①
商工業は、駒寄スマ
ートIC東の商業施
設は着々と進行中、一
方、西側開発は、前橋
市と産業振興覚書を締
結。今後の方向性を検
討中。②観光と観光農
園は、吉岡町振興公社
が中核を担っていく計
画。③一般農業は、商

答 現状を総合的に判断し慎重に検討

問 今後の大規模太陽
光発電施設の設置
に対応する設備条例の
整備が必要では。

答 建設課長 来年度

以降、より強制力
のある条例を制定する
予定。

問 大雨により増水し、
越水の危険があつ

た駒寄川下流域の護岸
工事の現状は。

答 町長 渋川土木事
務所より、護岸か
さ上げ工事が10月に発
注され、本年度内の工
事完成を予定。

答 町長 江川土木事
務所より、護岸か
さ上げ工事が10月に発
注され、本年度内の工
事完成を予定。

は駒寄スマートIC大
型化供用開始の約1年
後に周辺交通量調査を
実態調査は、民間開発
業者および県も実施す
ると考える。町として
認識している。交通量の
通量実態調査の計画

問 県道南新井前橋線
の完成に伴う、交
通量把握は。今後の交
通量実態調査の計画

は。

答 建設課長 吉岡バ
イパス大松交差点

周辺の交通量増加は認
識している。交通量の
実態調査は、民間開発
業者および県も実施す
ると考える。町として
認識している。交通量の
通量実態調査の計画

答 住民課長 各団体
で資源ごみの回
収、太陽光発電施設へ
の補助金。今後はごみ
分別の細分化、リサイ
クル率の向上などの取
り組みと啓発活動を進
める。

大松交差点から駒寄スマート IC 下り出口まで
渋滞する (県道南新井前橋線)

子どもの貧困、 実態調査を



さかた かずひろ 坂田 一広 議員

録画映像は
こちらをCHECK

答 健康子育て課長 「子ども子育て支援事業計画」策定に伴

国 の 「 地 域 子 供 の 未 来 応 援 交 付 金 」 を 活 用 し、子 稚 も の 貧

問 管路の更新需要が法定耐用年数の場合とその1・5倍の場合

問 平成30年の国のデータで、子どもの貧困率は13・5%、ひとり親世帯の貧困率が48・1%。町における子どもの貧困の現状についてどのように考えますか。

答 他課と調整し 検討したい

困の実態を把握するとともに、町の実情に合った子どもの貧困対策のニーズ調査を実施する考えは。
答 健康子育て課長
ニーズ調査は、行政が行う上では必要。関係する他課と調整し、検討したい。

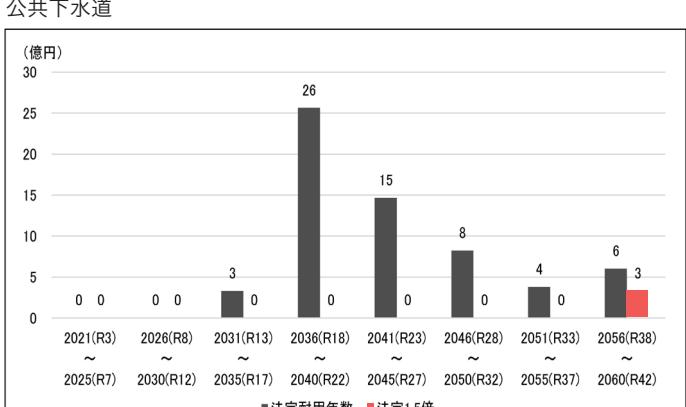
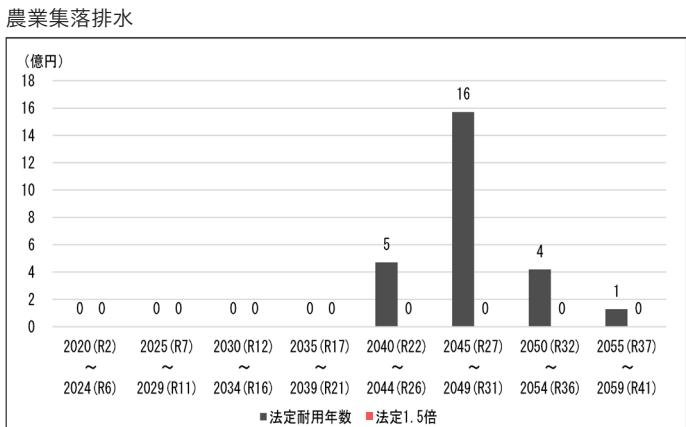
合では大きく変わる。
適正な管理、老朽化対策はどうなっているか。

答 上下水道課長 ス

トックマネジメント計画の第一歩として「実施方針」は作成済み。令和7年度に精度を高めた計画を策定予定。今後もライフサイクルコストの低減化や計画的な維持・修繕などをを行い、持続可能で安定して運営を図ること。

住民の意見が十
答 提出された
問 総合計画のパブリ
ックコメント実施
から最終的な意思決定
までの期間が短すぎ
住民から寄せられた意
見が十分検討されてい
るのか疑問があるが。

検討されたか疑問
点から真摯に対応
財政企画課長 意見が提出された時
点から真摶に対応。今
後の計画策定のスケジ
ュールには十分配慮し
たい。



それぞれ管路の更新需要



こい け はる お 小池 春雄 議員

録画映像は
こちらをCHECK

奨学金制度の導入を

答 考えはない

問

奨学金制度について

では、これまでの質問に対し、国・県や学校の制度が準備され充実しているので特に要らないとか、検討したいとか研究したいとの答弁だった。県内でも多くの市町村が奨学金を設けている。これまで町長は検討研究を約束したのでその結果を伺いたい。

答 町長 奨学金制度導入の考えはない。
問 先の議会では関係部署と協議し、研究したいと答えたが。
答 町長 現在は考えていらない。

問

コロナ禍で生活形態は一変し、失業や売り上げ減少が続いている。特に非正規労働者やアルバイト学生、あるいは一人親家庭などは大きく影響を受けている。高齢者も同じ。長生きを喜べる施策も必要。また、農業者に支援金を出している自治体もある。す

生、あるいは一人親家庭などは大きく影響を受けている。高齢者も同じ。長生きを喜べる施策も必要。また、農業者に支援金を出している自治体もある。す

べらしいと言われる施策を実施してほしいが、新年度予算編成に臨む決意を伺いたい。

答 介護福祉課長 コロナ禍での高齢者の生活課題を洗い出し、地域で高齢者を支える仕組みを考えたい。

答

産業観光課長 他自治体などの例を参考に検討したい。

通学バス無料化は

答 財政状況をみて予算編成する

問

子育て支援で給食費、保育料、通学

答 町長 財政状況を勘案し予算編成しバスの無料化は。

答 町長 財政状況を勘案し予算編成しバスの無料化は。

答 町長 職員と連携し知恵を出して準備したい。



1世帯月額使用料1,550円（通学バス）

問 通学バスはわずか26万円。このことを渋る考えがわからない。ヤングケアラーが問題となり、高崎市では1億数千万円をかけて対策を行っている。子どもたちが安心して学校に通える施策を講ずるべきだが。

答 町長 できるだけ近づけるよう調査研究をしたい。

問 検討ばかりしても困る、早く実施していただきたい、困っている今の問題である。

答 住民課長 広域組合の構成市町村と連携し、分別の細分化やリサイクルの向上に努めたい。